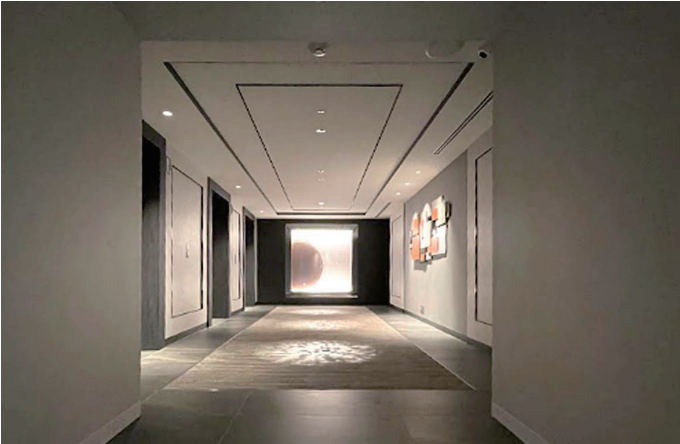


名古屋観光ホテル エスパシオフロア（9-11F）



外観

中部の迎賓館として、長い歴史と伝統を誇る「名古屋観光ホテル」。9Fから11Fをエスパシオフロアに改修、「エスパシオ タイムシェアリング」として新たなホテルステイを提案している。



エレベーターホール

エスパシオフロア。降り立ったときから優雅な時間が流れる。陰と陽で構成された左右非対称なデザインもあいまって、上質な時の流れを物語る。



63㎡タイプ 客室

上質な寛ぎの空間の中、ホテルに住まうという贅。優雅な設えの中に、宝飾品のように輝きを放つピンクゴールドカラーが、アクセントとして家具や照明にさりげなくちりばめられている。



63㎡タイプ キッチン

各客室には、IHクッキングヒーター付きキッチンやオープンレンジなどの家電や冷凍冷蔵庫を完備し、ホテルとしてではなくセカンドハウスとしての利便性も高い。未使用時は、扉をしめることで生活感を包み隠せる。



63㎡タイプ 洗面コーナー



2名同時に使用が可能な2ボウルの洗面や水栓金具は、端正な直線的なデザインを基調としながら、手が触れる部分は柔らかな曲線も生かされている。



63㎡タイプ 洗濯機・トイレ



すべての客室に洗濯乾燥機を完備。リビングから離れた位置にトイレを設置し、同泊者を気遣うことなく落ち着いて使用できる。トイレ内には専用手洗器も設えている。



48㎡タイプ 客室

各客室にさりげなくかつ豊富に設けられた収納が、居心地のよさとともに滞在利用での利便性を向上させる。



44㎡タイプ 水まわり

デザイン性と節水性に優れたウォシュレット一体形便器を採用。洗面と一体で造作されたカウンターには紙巻き器やリモコン類を埋め込み、シンプルなラインを強調。大きな鏡の映りこみが空間を広く見せる。



36㎡タイプ ダイニング&ワークデスク

ダイニングテーブルにて、キッチンで自炊した食事やルームサービスを楽しめるほかWi-Fi環境も整い、個室が生み出す安心感のなかで、テレワークのデスクとしても活用できる。

図面



水まわりの特長

改修の経緯

「名古屋観光ホテル」は、1936(昭和11)年の開業以来、名古屋市内で最も長い歴史と伝統を誇り「中部の迎賓館」として国内外の賓客やVIPを迎えてきた。2019(令和元)年秋、ハワイでオープンした「エスパシオ・ザ・ジュエル・オブ・ワイキキ」からスタートした日本発のホテルブランド「エスパシオ」の世界観を名古屋でも体験できるよう、2021(令和3)年に、9-11Fの3フロア54室を「エスパシオ タイムシェアリング・フォーアーク」専用フロアとして改修。富裕層のセカンドハウスや、エグゼクティブ層を中心とした“第2の仕事場”など、さまざまなライフスタイルにあわせた新しいホテルステイの提供がスタート。ホテルに住まうという今までにない新たな「時間のおもてなし」を提案している。

水まわりの特長

滞在型ルームという利便性を確保するため、キッチン、洗濯乾燥機などの充実した設備を付加し、さらにゆったりと上質に過ごす居住空間を実現させるために、従来2室の客室を、1室とする改修を実施。快適な滞在ができるよう、水まわりはリビング空間とは一線を介し、ゆったりとした配置となっている。洗い場付きバスルームや、作業性のよい広いカウンターの洗面コーナー、ゆったりとしたトイレ空間は、いずれもリビングと同じカールスキームで展開され、客室全体での統一感を感じさせつつ、利便性を向上。メンバー専用の特別サービスとあいまって、今までのホテルサービスを超越した、上質なおもてなし空間に生まれ変わった。

建築概要

名称	名古屋観光ホテル エスパシオフロア(9-11F)
所在地	名古屋市中区錦1-19-30
施主	エスパシオエンタープライズ株式会社
基本設計	株式会社日建設計
実施設計	清水建設株式会社
	デザインコンサル 株式会社日建設計
内装設計	株式会社日建スペースデザイン
施工	清水建設株式会社
竣工年月	(改修)2021年7月
敷地面積	7,231㎡
建築面積	5,266㎡
延床面積	8,766㎡(9-11F)
構造・階数	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造・地下3階、地上19階、塔屋3階

おもなTOTO使用機器

ウォシュレット一体形便器 ネオレストDH:CES9565WR／紙巻器:YH63B
水栓金具:TKS05301J、TLG02302JA／立水栓:TLC11C2